

第七十四回帝國議會
衆議院

船舶建造融資補給及損失補償法案外二件委員會會議錄(速記)第六回

付託議案
船舶建造融資補給及損失補償法案
(政府提出)
海運組合法案(政府提出)
造船事業法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十八日(土曜日)午後一時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野田文一郎君

理事中川 重春君 理事木原 七郎君

理事田中源三郎君

山本 厚三君

小林房之助君

板谷 順助君

板野 友造君

青木 精一君

米窪 滿亮君

小山 亮君

出席政府委員左ノ如シ

逓信政務次官 平川松太郎君

逓信參與官 上田 孝吉君

逓信省管船局長 伊勢谷次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶建造融資補給及損失補償法案(政府提出)

提出)

海運組合法案(政府提出)

造船事業法案(政府提出)

○野田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス――

板谷君

○板谷委員 私ハ此ノ際政府ノ所見ヲ質シ

テ置キタイト思フノデアリマス、先般來ノ質疑應答ニ依ツテ、今回政府ガ計畫サレマシタ十四年カラ十六年ニ至ル三箇年間ニ於テ二百万噸ノ船ヲ建造スル、又十四年度ニ於テハ約六十万噸ノ船ヲ建造スルニ付キマシテ、資材其ノ他ハ之ニ間ニ合フヤウニ手配ヲスルト云フ言明ガアツタノデアリマスルカラ、私ハ政府ノ此ノ言明ヲ信賴ヲ致シマス、唯茲ニ問題ハ、此ノ法案ハ成ベク船價ヲ安クスル趣意ニ於テ立テラレタノデアリマスルケレドモ、ドウモマダ私ハ不十分ト考ヘマスルノデ、隨テ若シ民間ニ於テ政府ノ豫定サレタル船舶ニ對スル註文ガナイ場合ニ於キマシテハ、政府ノ此ノ計畫ト云フモノガ目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデアリマスガ、ソレニ對スル對案ヲ御持チニナツテ居ルカ、ト申上ゲマスルノハ、即チ四千噸以下ノ船ニ對スル補助金三十圓出スト云フコトガ、大藏省ノ反對ニ依ツテ遂ニ不成立ニナツテ居ル、政府トシテハ出來ルダケ民間ノ船舶業者ニ對シテ或ル程度ノ満足ヲ與ヘル意味ニ於テ、斯ウ云フ案ヲ立テラレタモゾト思フノデアリマスガ、現在ノ

船價ハ御承知ノ通り割合ガ高イ、隨テ今ダケノ案デアツテハ船價ヲ引下ゲルト云フコトニ付テハ不十分デアルカラ、果シテ豫定通りノ註文者ガアルカドウカト云フコトニ付テハ多少懸念スル點ガアルノデアリマスカラ、之ニ對スル對策ヲドウスルカ、御所見ヲ御伺致シマス

○野田委員長 順序ヲ誤リマシタガ、質疑ハ打切ニナツテ居リマスケレドモ、只今ノ板谷君ノ御質疑ハ許シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○平川政府委員 此ノ前モ答辯シテ置キマシタ通りニ、成ベク造船價格ノ低減ヲ圖リマシテ、サウシテ市場運賃トノ見合セヲ致シテ、擴充計畫ヲ圖リタイト云フコトヲ答辯シテ置キマシタガ、只今板谷委員ノ御質問ニ依リマシテ、ソレデモ尙ホ民間ノ註文ガ出ナイ時ニハ、ドウ云フ方針ヲ以テヤルカト云フ御質問ノヤウニ拜承致シマシタ、サウ云フ場合モ無論豫想シナクテハナラヌト思ヒマス、サウ云フ場合ニ、詰リ民間ノ註文ガ出ナイデ擴充計畫ガ非常ニ困難ダト

云フ場合ニ於キマシテハ、政府ニ於キマシテ補助金トカ或ハ其ノ他適當ナル方法ニ依リマシテ、助成ヲ致シタイト云フコトヲ考慮スル積リデ居リマス、左様御承知願ヒマス

○板谷委員 宜シウゴザイマス

○野田委員長 是ヨリ討論ニ入リマス――

木原七郎君

○木原委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、本案ニ對スル態度ヲ表明致シタイト存ジマス、此ノ法案ハ三法案トモ時勢ノ要求ニ適應シタル最モ緊急ナ法案デアルト云フコトニ付テハ、吾々モ喜ンデ贊成シテ居ル次第デアリマス、但シ此ノ法案ノ運用ニ付キマシテハ、過日來委員各位ヨリ熱心ニ御質疑ナサツタ通り、隨分運用上政府ニ於テ御考慮ヲ拂ハレナケレバナラス點ガ多々アルヤウニ存ジテ居リマス、其ノ質疑ニ當リテ御意見モアツタコトデアリマスカラ、政府ハ其ノ意見ニ對シテハ十分ナル御考慮ヲ拂ハレテ、運用上萬遺憾ナカラシコトヲ期スルヤウ、御考慮ヲ御願シタイトデアリマス、取分ケテ私共最モ懸念ニ堪ヘマセヌノハ、

此ノ造船計畫ニ伴ヒマシテノ海員ノ補充問題デアリマス、同僚諸君カラ今後ノ海員補充ニ付テハ、確實ナル數字迄示サレテ補充難ヲ懸ヘラレテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ政府ノ御説明ハ、私共満足シ得ナイ點ガアルノデアリマス、如何ニモ消極的ナ御答辯ニ過ギナイ、確タル御自信ガナイカノヤウニ私共受取ツテ居ルノデアリマス、ドウカ物的資材ノ充實ヲ期セラレルト同時ニ、此ノ人的資材ニ向ツテモ十二分ノ御注意ヲ拂ハレテ、適正ナル御考慮ヲ願ヒタイノガーツデアリマス、又取分ケテ此ノ法案實施ニ當ツテ、最モ先決問題トシテ必要デアラウト思ハレルノハ、即チ海事行政ノ統一デアリマス、此ノ統一ノ必要ナルコトハ、今更私ガ彼此レ申述ベル必要モナイノデアリマスガ、先般板谷サンノ御話ヲ承ツテ見マスレバ、此ノ海事行政統一ノ問題ハ既ニ十年來ノ懸案デアアル、而モ過去ニ於テハ所轄三大臣トモ皆必要デアル旨、同感デアアル旨御答ニナツテ居ルニモ拘ラズ、今日ニ至ルマデ更ニ其ノ實現ヲ見ナイ、洵ニ十年棚曝シノ感ガアルノデアリマス、既往ハ兎ニ角ト致シマシテモ、此ノ重大ナル法案ヲ實施ナサルニ付テ、此ノ海事行政ノ統一ガ出來ルカ出來ナイカト云フ

コトハ、其ノ影響スル所頗ル至大ナルコトト思フノデアリマス、今マデノ大臣ハ誠意ガアツテモ努力ガ足りナイノカ、其ノ何レニ原因ガアルニ致シマシテモ、此ノタビ此ノ法案實施ニ伴フテハ、何ト云ツテモ緊急ノ問題デアルト存ジテ居リマス、ソコデ此ノ問題ニ對シテ遞信大臣ハ同感デアアル、其ノ實現ヲ希望シテ居ルト云フヤウナ熱意ノアル御答辯モアルノデアリマスルガ、私共ハソレノミデハ満足出來得ナイ、ドウシテモ是ハ萬難ヲ排シテ其ノ實現ヲ圖ラナケレバナラスト存ジマスルノデ、私共ハ此ノ海事行政ニ對シマシテハ、一ツノ院議ヲ以テ政府ノ決意ヲ促シテ置キタイ必要ヲ感ジマス、其ノ院議ニ付スベキ條項ヲ茲ニ朗讀致シマス

内外ノ情勢ニ鑑ミ本邦海運伸張ノ根本方策ヲ講スルハ現下喫緊ノ要務ナリト認ム、仍テ政府ハ内地外地ノ海事行政ヲ統一シテ滿支トノ連絡ヲ密接ニシ、以テ一元的海運國策ヲ樹立スル爲速ニ適當ノ措置ヲ執ルヘシ

此ノ條項ヲ附帶決議ト致シマシテ、本會議ニ報告セラレンコトヲ要望致シマシテ、私ハ本案ニ贊成スルモノデアリマス

○田中委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマ

シテ、本案ニ對スル贊否ヲ明ニ致シタイト存ズルノデアリマス、只今同僚木原君カラ附帶條文ヲ御朗讀ニナリマシタコトハ、私共贊成ヲ致ス次第デアリマス、唯此ノ際條文ノ點ニ付テ付言ヲ致シマシテ、政府ニ要望致シタイコトハ、將來我ガ日本帝國ハ日滿支ノ海事行政ヲ統一一致シマシテ從來ノ海運業上ノ弊害ヲ除去致シマス共ニ、日滿支ノ海外ニ於キマス連絡上、海運上ノ霸權ヲ掌握致シ、之ニ依ツテ更ニ商權ヲ掌握致シマシテ、東亞ニ於キマスル所ノ日滿支産業ノ確立ノ重大ナル役割ヲ爲サシメル爲ニハ、政府ハ此ノ機會ヲ措イテ之ヲ統一スル機會ガナイト私ハ考ヘルノデアリマス、屢、過去ニ於テ主管大臣ガ贊意ヲ表セラレマシタモノガ、十年後ノ今日ニ於テモ未ダ此ノ統一ヲ見ナイト云フコトデアリマスルナラバ、何等カソコニ統一ノ出來難キ事情ガ存在スルノデアアルマイカトモ窺ヘルノデアアル、斯様ナコトハ國家ノ大局カラ見テ、小異ヲ捨テテ大同ニ就イテ、此ノ世界的ニ飛躍スベキ所ノ現下ノ日本ト致シマシテハ、ソコニ色々ナ因縁情實ガアリマセウトモ、思ヒ切ツテ此ノ度ハ當局ガ此ノ行政事務統一ヲ爲サレンコトヲ特ニ要望致シマス、更ニ私共ノ憂ヘテ居リマスコトハ鋼材ノ配

給デゴザイマス、造船鋼材ノ配給ハ政府ノ御答辯ニ依リマス、決シテ心配ガナイト仰セラレルノデゴザイマスケレドモ、前年度配給ノ鋼材ガ未ダ其ノ全キヲ得テ居ルトモ言ヒ得ナイ狀態デアリマス、是ハ即チ言換ヘレバ前年度配給サルベキ所ノ鋼材ノ配給ガ、終ツテ居ナイト云フコトヲ意味スルモデゴザイマス、併セテ更ニ人的資源ノ缺乏ヲ考ヘマス、政府所期ノ通りノ造船ヲ爲ス上ニ於キマシテハ、茲ニ餘程ノ御努力ガナイト、所期ノ造船事業ヲ全ウスルコトハ困難デアラウト推定サレルノデアリマス、況ヤ鋼材ノ配給ニ於テ私ハ深く懸念スル者デゴザイマス、隨テ政府ハ答辯ノ通り僞ナク鋼材配給ヲ全ウ致シマシテ、此ノ造船計畫ヲ遂行致スコトヲ強ク私ハ政府ニ念ヲ押シテ要望致シマス

第三ニハ、此ノ造船計畫ガ遂行サレテ行キマス共ニ、一面ニ於テ海事行政ヲ統一シ、一面ニ於テ造船計畫ヲ遂行致シテ行キマスナラバ、必ズヤ帝國ノ遠洋配船ニ向ツテ、戰前ニ於ケルヨリ以上ノ狀態ニ、政府ハ之ヲ引戻スコトニ力ヲ注イデ戴カナケレバナラス、即チ帝國ノ對外貿易ニ於キマシテ、一番重大ナル役割ヲ占メテ居リマス所ノ船線ノ問題、此ノ船線ノ問題ハ將來外國

ノ商品ヲ輸入致シマスル時モ、帝國ノ商品ヲ輸出致シマスル場合モ、即チ輸出入共ニ帝國自船舶之ニ配船シ得ルヤウ、更ニ外國ヨリ外國ニ到ル第三國間ノ就航ニ向ツテ、從來帝國ノ船舶ガ之ニ配船ヲ致シテ得テ居リマシタ所謂貿易外ノ船舶運賃收入ヲ、從來ヨリモ一層多ク取入レシムルヤウニ、御手配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私共ノ杞憂致シマス所ハ、此ノ事變ガ繼續中ニ於キマシテモ、終了後ニ於キマシテモ、日本ノ造船ガ茲ニ擴大シテイツテ、船舶ガ殖エテ參リマシテ、一朝外國船舶トノ對抗ニ進ンデ入ラウ、其ノ「ライン」ニ喰入ツテ行カウト致シマス場合ニ於テハ、必ズヤ各國ハ自國船舶ヲ擁護致シ、關稅ノ引上ヲ致シマス共ニ、他國ノ船舶ヲ排除スル政策ヲ執ルモノデアルト推定サレルノデアリマス、隨テ政府ハ其ノ邊ニ意ヲ注イデ、十分ニ此ノ造船計畫ヲ遂行スルト共ニ、他面配給方面ニ向ツテ格段ノ留意ヲサレンコトヲ、強ク私ハ要望ヲ致シマシテ、三案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス

○野田委員長 青木君

○青木委員 我ハ只今付議サレテ居リマス所ノ三案ニ對シマシテ、政民ヨリ提出サレタ所ノ附帶決議ヲ含メテ原案ニ贊成致ス者

デアリマス、我ガ海運行政ノ體制整理ニ付テハ、長イ沿革ヲ經テ今日ニ至リマシテ、稍、其ノ體制完成ノ緒ニ就クヤウナ立法ガ、本日茲ニ可決セラレルコトヲ私ハ喜ブノデアリマス、即チ船舶建造融資補給ノ問題ガ立法化セラレ、ソレカラ造船事業法案ガ幾多ノ紆餘曲折ヲ經テ斯ノ如キ立法ニナリ、又其ノ運用ノ基礎的働ヲ爲ス所ノ海運組合法案ガ茲ニ制定セラレル、而モ造船事業法案ノ如キハ、此ノ内容ニ依レバ進歩的ノ傾向ヲ顯著ニ現ハシテ居ルト解スルコトガ出來マスコトヲ喜ブノデアリマス、此ノ上ハ是等ノ法制ヲ實施運用スル上ニ於テ、多年ノ問題デアアル所ノ内地外地ノ海運行政ノ統一ヲ期スルト云フコトガ、殘サレテ居ル所ノ行政土ノ大問題デアリマス、之ニ付テモ遞信省ガ多年努力シ來ツテ居ル所ノ實績ハ、未ダ完全ニハ現ハレマセヌガ、之ヲ認メナイ譯ニハ行カナイノデアリマス、併シ更ニ百尺竿頭一步ヲ進メテ、具體的ニ此ノ海運行政ノ統一ヲ實現セラレタイ、斯ウ云フコトヲ直シテ統一シテ行クノガ即チ革新政治ナノデアリマス、何時マデモ舊弊ニ囚ハレテ權限爭ヒヲシ、内地外地ノ對立狀態ヲ續ケテ居ルヤウデハ、此ノ東亞ノ新秩序建設ニ役立タセ、又世界ニ飛躍スル所ノ日本ノ

海運ノ根柢的基礎ガ法制ノ上ニ於テハ定ツテモ、運用ノ上ニ於テ幾多ノ支障ヲ來スノデアル、又日常大小海運業者ガ此ノ行政上ノ不統一ノ爲ニ、ドノ位迷惑ヲシ、不便ヲ感ジテ居ルモノカト云フコトヲ察スルト、單ニ是ハ役人同志ノ面子ノ問題、權限爭ヒノ問題ナドデ、何時マデモ現状ノ儘デ放置スベキ事柄デハナイノデアリマシテ、ドウカ此ノ附帶決議ノ中心問題デアアル所ノ、内外地ノ海事行政統一ト云フコトニ努力ヲ拂ハレマシテ、近ク之ヲ具體的ニ實現セラレテ、海運行政ノ圓滑ヲ期サレンコトヲ希望致シマシテ、三案ニ贊成致シマス

○野田委員長 米窪君

○米窪委員 我ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ船舶建造融資補給及損失補償法案、海運組合法案、造船事業法案ノ三案ニ對シテ贊成スル者デアリマス、但シ昨日マデノ委員會ニ於テ、幾多ノ點ニ付テ質疑ガ重ネラレタノデアリマスルガ、其ノ質疑ノ中デ此ノ際特ニ政府御當局ノ最善ノ御關心ヲ仰ギタイ點ヲ申上ゲテ、是非其ノ實現ニ對シテ希望致シテ置クノデアリマスガ、第一ノ點ハ、此ノ三案ガ實施サレルコトニ依ツテ、何ト云ツテモ日本ノ海運ガ健全ナル發達ヲ遂ゲ、サウシテ海國日本トシテノ國策ノ精神ガ實

現サレルコトハ、疑ナイコトデアリマシテ、既ニ是等ノ點ハ英國ノ海運界ヲ刺戟シテ、彼等モ相當ノ對策ヲ講ズルト云フ報道ガ、新聞ニ現ハレテ居ルコトヲ以テ見テモ、如何ニ各國ガ此ノ日本ノ政府當局ノ執ラレントスル施設ニ對シテ、重大ナル關心ヲ拂ツテ居ルカト云フコトガ分ルノデアリマス、此ノ點ニ於テハ何卒此ノ法案實施ノ際ニ於テ政府ハ海運業者、造船業者其ノ他法案ニ關係スル當事者ニ對シテ、此ノ重厚ナル海運ノ保護政策ノ恩寵ニ狃レテ、營利本位ノ海運經營ヲ爲サザルヤウニ、國家ノ大キナ立場カラ、國策トシテノ大キナ立場カラ、政府ノ意ノ在ル所ニ能ク協力提携シテ、此ノ法案提出ノ趣旨ニ合フヤウニ、彼等ニ十分ナル警告ヲ發セラレ、サウシテ其ノ運用ノ上ニ於テハ十分ナル監督ヲサレンコトヲ希望ニ堪ヘナイノデアリマス、是ガ第一ノ希望ノ意見デス

第二ノ點ハ先程木原委員カラモ御話ガアリマシタ通り、此ノ法案ト關聯シテ私共非常ニ憂慮スル點ハ、物的資材ノ擴充ニ付テハ一應整ツタ形デアリマスガ、此ノ物的資材ノ擴充ヲシテ最終ノ意義アラシメル爲ニハ、之ヲ運用スル第一線ニ立ツテ居ル所ノ海員ニ對シ、或ハ海員其ノ他ノ問題ニ對ス

ル所謂人的資材ノ擴充ト云フコトニ付テノ諸施設ガ、之ニ伴ハナイ憾ミガアルノデアリマス、此ノ事ハ過去ノコトハ言ヒマセス、將來ニ於テ是非物的資材ノ擴充ト云フ此ノ大問題ヲシテ、有終ノ美ヲ濟サシメルヤウニ、人的資材ノ擴充ニ付テ御努力ヲ願ヒタイ、此ノ點ハ大體ニ於テニツニ分レマシテ、即チ龐大ナル御計畫ヲ運用スル船員ノ養成、サウシテ需給、更ニモウ一ツノ點ハ船員ヲシテ單ニ量ダケデナク——遞信當局ニ昨日モ御尋致シマシタガ、量ダケノ答辯ガアツタノデアリマスガ、質ノ問題、所謂優秀ナル船員ヲ保持スル爲ニ、相當ノ保護ヲ與ヘナケレバナラスト云フコトデアリマス、此ノ二點ニ付テ十分ナル御施設ヲ講ズルコトヲ御考慮ヒタイト云フ點デアリマス、私ハ實ハ此ノ點ニ付テハ附帶決議トシテ政府ニ要請スル積リデアリマシタガ、準備、連絡ガ取レナイノ希望意見トシテ申シマスガ、ドウゾ附帶決議ト同様ニ御考ヲ願ツテ、サウシテ私共ノ希望ノアル所ヲ實現サレンコトヲ欲スルノデアリマス、第三ノ點ハ木原君カラ朗讀サレタ内外地ヲ通ズル海運行政ノ一貫性ノ問題デアリマス、是ハ同僚ノ各委員カラ多ク説明サレマシタカラ、私ハ決シテソレヲ重複シマセスガ、社會大

衆黨トシテモ此ノ附帶決議ノ精神ニ對シテハ、滿腔ノ贊意ヲ表シ、サウシテ附帶決議ヲ附ケテ本案ニ贊成スル者デアリマス

○野田委員長 是ニテ討論ハ終結セラレマシタ、採決致シマス、船舶建造融資補給及損失補償法案、造船事業法案及ビ海運組合法案、此ノ三案ノ原案竝ニ附帶決議ニ對シテ、贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○野田委員長 起立全員、以上三案ハ附帶決議ト共ニ滿場一致可決セラレマシタ

〔拍手起ル〕

○野田委員長 此ノ際一言御挨拶ヲ申上ゲマス、連日ニ互リマシテ、格別ル御精勵ニ對シテ敬意ヲ表シマス、且ツ委員長ノ不手際ニ對シテ御支援ヲ賜リマシタコトニ對シマシテ、感謝ノ意ヲ表シマス(拍手)是ニテ散會致シマス

午後二時散會